

Sustainability Action

2024年10月

SEIBU SOGO

【西武東戸塚S.C.】

視覚障がい者の立場で“見えにくい”を体験する 「盲導犬キャンペーン」を開催

日本で盲導犬を希望する人約3,000人に対して盲導犬の数は約800頭。まだまだ足りない盲導犬を1頭育成するにはおよそ300万円の費用がかかると言われています。視覚に障がいのある方が積極的に社会にご参加いただくために、そごう・西武では2003年より盲導犬育成支援活動を推進し、その一環として10月26日(土)に西武東戸塚S.C.で「盲導犬キャンペーン」を開催しました。公益財団法人日本盲導犬協会の進行による、盲導犬ユーザーの方のお話やデモンストレーションに加え、今回は初めて「見えにくいを体験してみよう」のコーナーを設置。アイマスクを着用して時計の文字盤に物を置くことで、位置や方向を正しく伝えるクロックポジションや、視界がぼやけるシートを使った時に、どのような配色が見えやすいのかを実際に体験。多くの方にご参加いただき、目の見えない人や見えにくい人に対してのご理解を深めていただく良い機会となりました。



日本盲導犬協会スタッフの方による盲導犬に関する説明



盲導犬ユーザーの方の誘導の仕方を説明



「見えにくいを体験してみよう」のコーナーには多くのお客さまが参加。想像以上の「見えにくさ」を共有しました。

この取組みにより、国連で定めたSDGsの
目標 3・10・11の達成に貢献します。

